



フード・フォーラム・つくば フードセーフティ分科会
(公社)日本分析化学会表示・起源分析技術研究懇談会
ジョイントシンポジウム

ゲノム編集食品の展望と規制・表示の現状について

日時: 2021年3月4日(木) 13:15~15:55
WEB 開催: 要参加登録(無料)

挨拶 13:15~13:20

講演1 13:20~13:50

今川 正紀氏 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課 新開発食品保健対策室 室長)

「ゲノム編集技術応用食品の規制の動向について(仮)」

講演2 13:50~14:10

金子 雅隆氏 (消費者庁 食品表示企画課 課長補佐)

「ゲノム編集技術応用食品の表示について(仮)」

休憩 14:10~14:20

講演3 14:20~14:50

梅基 直行氏 (理化学研究所・環境資源科学研究センター 統合メタボロミクス研究グループ上級研究員)

「ゲノム編集による毒をつくらないジャガイモの開発」

ジャガイモの毒成分をなくすことで食の安全、コスト削減や育種への効果が期待できます。身近な成分ですが、生合成の報告は少なく、我々が先だって研究を進めてきました。鍵遺伝子をゲノム編集で破壊した品種の開発状況をお伝えします。

講演4 14:50~15:20

木下 政人氏 (京都大学・農学研究科・応用生物科学専攻 助教)

「ゲノム編集養殖魚の現状と意義」

健康食への関心の高まり、食料不足の問題などから世界中で養殖が発展している。しかし海産魚介類の養殖の歴史は浅く、農作物のように多様な品種は存在しない。本講演では、ゲノム編集技術を用いた養殖魚品種の作出事例とその意義について報告する。

講演5 15:20~15:50

小島 正美氏 (食生活ジャーナリストの会 代表)

「マスコミ・消費者視点からのゲノム編集食品のこれからと課題(仮)」

挨拶 15:50~15:55

お問合せ・参加申込み先 https://www.fft.gr.jp/f_top.htm#20210304 (〆切 3月2日)

◆フード・フォーラム・つくば 事務局

Email: office@fft.gr.jp (萩原・塚田) TEL: 029-838-8010

URL: <http://www.fft.gr.jp>